

JAきたみらい

おひさま サタダ

2022



vol.232

5

特集

第19回
きたみらい
農業協同組合
通常総代会

はいっ ポーズ!

《温根湯地区・平里》

まさゆき まつき まさはる
福田政行さんと美月ちゃん・雅治くん

(紹介は2ページです)



季節の薫り

玉ねぎ定植、 順調にスタート！ ～努力の報われる年を願って～



4月中旬から当JAの各地で、玉ねぎの定植作業がスタートしました。昨年の定植作業は天候が順調に推移したため例年になく早いスタートでしたが、今年は平年並みとなりました。

今年度18%の作付けを予定している、きたみらい玉葱振興会副会長の雅楽川英行さんは19日から定植作業を開始しました。2月の播種後、順調に生育した極早生品種や早生品種などの苗が手際よく移植機に積み込まれ、次々と圃場に植え付けられていきました。

雅楽川さんは「昨年は干ばつで苦労したが、今年は豊作で需給のバランスがとれ、生産者の努力が報われるような秋を迎えられれば」と話しました。

当JA管内の玉ねぎ作付面積は約4,600㌥、収穫量は26万7,000㌥を見込んでおり、定植は5月中旬ごろまで続く予定となっています。



▲移植機に苗を積み込む様子

もくじ CONTENTS

特集

第19回

きたみらい農業協同組合
通常総代会

○季節の薫り……………2

○表紙紹介……………2
「自由に我が道を行く人にな
って欲しい」

○JAトピックス……………12

○ほのぼのの広場……………14
・プリティウーマン
・記念の一枚

○みらいプロジェクトチャンネル……………15

○JAからのお知らせ……………16

○おひさまサラダクッキング……………24
「切り昆布の
煮込みハンバーグ」
「ホタルイカと新ゴボウの
炊き込みご飯」

表紙紹介

自由に我が道を行く人になって欲しい

春風の心地よい季節となった4月中旬、福田さんのお宅を訪ねると、学校の参観日を終えた美月ちゃんと雅治くんがお出迎えしてくれました。長女の美月ちゃんは算数の勉強が大好きな小学2年生です。最近はお母さんの手伝いを頑張っているようで、お母さんが「とても助かっているよ」と言うたびに、こっそり笑顔を見せてくれました。将来は看護師になりたいと照れくさそうに教えてくれました。

長男の雅治くんはポケモンと読書が大好きな小学1年生です。最近頑張っていることを聞くと「自転車に乗ること」と元氣よく教えてくれました。玉ねぎの苗取りなど農作業を手伝う雅治くんは将来、お父さんの手伝いをしたいと意気込んでいます！

2人は普段、一緒に遊ぶことが多く、喧嘩をする時もありますがとても仲良しです。お父さん、お母さんの好きなのを聞くとお父さんは優しい！お母さんは可愛い！と大好きな気持ちがたくさん伝わってきました。美月ちゃんの顔はお父さん似ですが性格はお母さん譲りでおしとやか、雅治くんの顔はお母さん似ですがお父さん譲りの明るい性格です！そんな姉弟に「両親は「周りに流されず、自由に我が道を行く人になって欲しい」と話してくれました。



【ご家族紹介】

前列左から～長男の雅治くん(6)、長女の美月ちゃん(8)
後列左から～お母さんの由佳理さん(38)、お父さんの政行さん(37)
作付内容：秋小麦、春小麦、白花豆、小豆、甜菜、玉葱、赤玉葱を約36%作付けしています。

事業報告並びに事業計画含め提出議案8件承認

第19回JAきたみらい 通常総代会を終える



▲開会挨拶を述べる大坪組合長



▲報徳善行賞を受賞した齊藤邦夫さん（置戸）



▲農協功労表彰を受賞した西川会長



▲特別優良表彰を受賞した当JA（大坪組合長）

当JAでは4月12日、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年同様、総代に対し書面議決での対応を依頼した中、北見市のホテル黒部で第19回通常総代会を開き、総代377人（本人9人、代理0人、書面議決368人）が出席しました。提出した8議案全てが可決され採択されました。

総代会の開催に先立ち、北海道報徳社より健全な農業経営の構築など長年の功績を称え、齊藤邦夫さん（置戸地区）が「報徳善行賞」を受賞され、大坪広則組合長より賞状などが手渡されました。また、JA全

中が実施する2021年度農協功労表彰に西川孝範会長、特別優良表彰に当JAが選出され、JA北海道中央会の小野寺俊幸会長からそれぞれ賞状などが授与されました。総代会開会にあたり大坪組合長は

「SDGsが世界的にも認識が高まり、農業のDX化やカーボンニュートラル、みどりの食料システム戦略策定など、生産現場にも大きな変化が求められると予想されている。当JAとしても、将来を担う若い世代へと生産基盤を引き継ぐためにも、再生可能なエネルギーの活用やクリーン農業の推進など新たなイノベーションを推進し、組合員の皆様と課題や情報を共有していくことがこれ



▲総代会の様子



▲議長を務めた井上一味さん（置戸・左）と加藤英樹さん（北見・右）



▲▼議案説明する越田常務（左）、高橋常務（右）、監査報告する南代表監事（下）



から大変重要になる。組合員とともに、組合員による、組合員のために基本に第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画を着実に実践し、きたみらいの経営資源と機能を結集させて、全てに対して豊かさを求める



農協事業運営に取り組んでいきたい」と述べました。
また、令和3年産を振り返り、「春の融雪が順調に進み平年並みの植え付けとなったが、5月に一部地域での降雪と豪雨、6月から7月にかけては一変して猛暑干ばつ傾向となった。平年作となった品目もある一方、玉ねぎや馬鈴しょ、一部の豆類では平年を下回る収量実績となった。酪農・畜産においては、良質粗飼料の確保と生産基盤確立に向けた積極的な取り組みにより前年を上回る生乳生産量を確保できた。しかしながら、処理不可能乳発生回避に向けた年末年始の生産抑制対策や、個体販売における一部価格の下落など、コロナ禍の影響により先行き不透明な状況が続いた。このような未



▲議案に挙手で賛成を表明する総代のみなさん

曾有の環境下でも、被害リスクを最小限に食い止めながら、安全・安心な農畜産物を消費者へ安定供給できたのは組合員の皆様の営農努力の賜物であり、改めて敬意を表する」と感謝を述べました。
引き続き、2名の議長（北見地区

組合員と共に 地域農業発展を目指して

常務理事

宮下 尚 樹



この度の第19回通常総代会において理事として選任され、当日の臨時理事会において常務理事の職に不肖私が選任され、責務の重大さを痛感し身の引き締まる思いであります。

また、きたみらい農協の誕生から今日まで、その礎を築き上げてこられました組合員・役職員の皆様方、並びに多大なるご協力を頂きました関係機関各位に対しまして敬意を表するとともに、あらためて感謝と御礼を申し上げます。常務の職に就き、私自身まだまだ微力ではございますが、組合員のために、組合員と共に、これからもきたみらい農協がさらなる発展を目指していけるよう努力して参る所存でございますので、今後とも組合員・役職員・関係機関の皆様方にはご指導・ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

さて、農業を取り巻く情勢は刻々と変わりつつある中で、国では環境負荷軽減に資するべく、「みどりの食料システム戦略」では環境に配慮して肥料・農薬等の削減等が求められており、個々の農家の肥培管理技術等が今まで以上に重要になると思われます。

一方、水田活用直接支払交付金見直しの法案が提出されており、今後の地域農業の営農に影響を及ぼすと危惧されますので、今後の動向を注視して参りたいと思う所であります。

そのような中、ロシアとウクライナの戦争により、今まで以上に肥料・飼料・燃油等生産資材の高騰が懸念されており、その確保についても農家経営に与える影響は計り知れない状況下にあります。役職員一丸となって今後生じ得る影響を最小限に留めるよう努めて参りたいと思います。

また、コロナ禍における行動制限や、外食産業・観光業界等での農畜産物の消費低迷が続いており、中でも生乳・砂糖・米が問題となっている現状ですが、1日も早くコロナ以前の日常生活に戻り、消費が回復し、当組合の女性部・青年部・フレッシュミズ・各生産組織の活動も、感染対策をしっかりと行いながらコロナ以前と同様に実施できることを願う所です。

そのような中、今後とも組合員との対話を重視し、組合員とともに様々な諸課題解決に取り組みながら、組合員のために地域農業の持続的発展を目指して参りたいと思います。

最後になりますが、新任常勤役員の1人として、会長・組合長・専務と共に役職員一丸となって、組合員の営農と生活を守り、期待に応えられる・求められる農協事業運営に努力して参る所存でございますので、組合員皆様には今後ともご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

組合員皆様方には健康と農作業事故に留意され、令和4年度が災害もなく良い天候に恵まれ、豊稔の出来秋を皆様方と一緒に喜び合える一年になることを御祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

組合員の期待に 応えられるJAを目指して

代表理事専務

齊藤 和 雄



この度の第19回通常総代会で理事として選任され、その後の臨時理事会において再度、代表理事専務を拝命致しました。職責の重大さに身の引き締まる思いではありますが、「組合員の営農と生活を守り高める」の協同組合の理念のもと、組合員皆様やきたみらい農協の更なる発展を目指すべく、甚だ微力ではございますが、専心努力する所存でありますので、今後一層のご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。

さて、組合員の皆様におかれましては、多くの方が春の植え付け作業の折り返し地点、もしくは一段落を迎えた頃と思います。皆様の営農に対する取り組みには大変敬服するところであり、農業を取り巻く環境では、新型コロナウイルスが未だ終息に至らず、我々の日常も不自由な生活が続いており、加えて、世界の様々な要因により、農畜産物の状況は今までと一変してきております。今後は「ポストコロナ」の時代として、食料の安定供給を求める消費者の意識の高まりを国内農業への理解と応援につなげ、「我々は食料生産で国を支える」といった誇りと自信を持ち、先人から継承してきた経験と技術、そして現代のスマート農業による最先端の科学と技術を融合させて、持続的な農業を目指していかなければいけません。

先般、当JAが全国農業協同組合中央会から特別優良表彰を頂いたところです。「集えひとつに」のもと、8JAが大団結して20年目を迎え、日本一の優良農協の受賞となりましたことは、組合員の皆様、並びに関係機関の皆様の当JA事業に対する深いご理解とご協力、また職員の不断の努力の賜物であります。今後においても、変化する農業情勢に対応し、組合員皆様の期待に応えられる農協として、事業運営と脱炭素等の環境への配慮、地域貢献にも積極的に取り組んで参りますので、今後、より一層のお力添えをよろしくお願い致します。

結びとなりますが、組合員の皆様、ご家族の皆様のご健勝と、農作業事故にはくれぐれも注意して頂き、本年も豊稔の出来秋を迎えられることを心からご祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

「全ては組合員 のため」の实践に向けて

代表理事組合長

大坪 広 則



組合員の皆様におかれましては、春耕期を迎え大変忙しい毎日のことと存じます。この度の第19回通常総代会において理事として承認され、その後の臨時理事会で新たな常勤体制も決まり、不肖私が組合長の重責を引き受けることとなり、与えられた責務の重さを痛感しているところであります。これまでの経験を活かし、「全ては組合員のため」を基本に誠心誠意職務を全うして参りますので、更なるご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

昨今の農業・JAを取り巻く環境は大きく変わりつつあります。特に、環境負荷軽減の側面からも、昨年農水省で「みどりの食料システム戦略」が策定され、生産現場にも大きな変化が求められてくることが予測されます。こうした時代の流れにもしっかりと対応しながら、組合員皆様の営農に貢献していくことが、地域の活性化にもつながります。第5次中期経営計画のスローガンである「心と地域の豊かさを求めて」を実現できるよう、役職員一同実践方策に取り組んで参ります。

さて、現在の世界情勢に目を向けますと、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻によって燃料が高騰しており、生産現場のコスト上昇や、我々の日常生活への影響も懸念されることから、一刻も早い停戦を願うばかりであります。

また、新型コロナウイルス感染症は中々終息の見通しがつかない状況であります。JA事業を停滞させることのないよう、今後は感染予防対策を徹底しながらコロナと上手に付き合うことでJA事業運営との両立を図り、諸先輩方が築き上げてきた生産基盤を次世代へしっかりと引き継ぐためにも、若い世代がどのような状況でも自信を持って誇れるような農業を目指していければと考えております。

今年も営農がスタートしておりますが、コロナ禍が終息し、組合員皆様が安心して営農に専念できるような環境となり、農作業事故や災害もなく、素晴らしい年産になることをご祈念ご期待申し上げ、就任にあたってのご挨拶と致します。

就任のご挨拶

の加藤英樹さんと置戸地区の井上一味さん）を選任し議案審議に入りました。定款の一部変更や令和3年度事業報告・剰余金処分案、令和4年度事業計画など8件の議案が審議され原案通り承認されました。事業報告では、令和3年度の農畜産物販売取扱実績は計画比22%増の491億4200万円と報告され、令和4年度の農畜産物販売取扱高は418億3600万円とする事業計画を決定しました。最後に齊藤専務の閉会挨拶の後、午前10時40分に全日程を終了しました。



▲閉会挨拶を述べる齊藤専務

総代からの質問・意見

提案された議案について質問や意見はありませんでした。

第19回総代会資料の一部訂正について

訂正箇所

第19回総代会資料 P91下段

<7. 経営管理 (1) 施設計画

③太陽光発電設備の取得内容について>

資産名

機械装置 太陽光発電設備・蓄電池設備工事

補助残金額欄

誤 363,070千円⇒正 260,428千円

同 固定資産取得・補改修 合計欄

誤 416,366千円⇒正 313,724千円

常勤監事 就任にあたって

常勤監事

鹿 野 信 男



この度、第19回通常総代会におきまして監事に選任され、その後の監事会におきまして常勤監事に就任致しました。

私は、昭和62年に「北海道共済連」、現「JA共済連北海道本部」に入会し、以後36年間共済事業に従事しておりました。その間、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて、多くの組合員、またそのご家族の皆様にご利用頂いていることに対しまして改めて感謝申し上げます。

これからはJAきたみらいの常勤監事として、大坪組合長による新執行部体制のもと、南代表監事、土山監事、大邑監事、北村監事の教を乞いながら、微力ではございますが、監事の任務を精一杯果たしていく所存であります。

監事の職務は、「理事の職務執行の監査」も当然重要な役割ですが、「農業協同組合」として、JAが組合員との関わりをどのように深めているか、組合員がJAへの結集にどのように取り組んでいるか、また、地域との関わりの中で必要とされる組織として、どのような活動を展開しているかなど、協同組合組織の基本的な部分にも着目し、JA組織に特有の価値をどのように追及しているのかという点についても、監事という立場から検証し実現できるよう後押ししていくことも重要であると考えております。

最後になりますが、本年も豊穡の秋を迎えられることと、組合員及びそのご家族、並びに役職員の皆様のご健勝をご祈念申し上げて、就任のご挨拶とさせていただきます。3年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

次世代への 継承を目指して

代表監事

南 博 敏



この度、第19回通常総代会におきまして監事に再任され、続く監事会において再び代表監事の選任を受け就任致しました。あらためて、その職務の重大さに身の引き締まる思いであります。

学識経験者の監事を2名に増員しながら、監事定数が1名減となる新体制での監事会がスタートして早3年が経ちました。新たな試みの中で試行錯誤もありましたが、組織代表・学識経験者それぞれの強みを活かしながら、新たな監査体制を構築することができました。ここに、任期満了によって退任されました宇野前常勤監事・平川前監事・牧野前監事の諸氏におかれましては、多大なるご尽力を頂き感謝申し上げる次第であります。

さて、農業・農協を取り巻く情勢は、国内外を問わず、どの時代にも厳しい状況の中にあるのが実情です。現在はコロナ禍やウクライナ情勢など世界規模で激動の真っ只中ですが、そのような中でも、先祖代々の農地を守り、若者たちが夢と希望を持ち続けられるような農業の基盤づくりが、我々JA役職員の役目であると考えております。

先般、JAきたみらいは特別優良農協表彰を受賞し、「名実ともに日本一の農協」となりました。組合員の皆様方がこれまで農協に結集してきた賜物であり、役職員が組合員と地域を守るために取り組んできた成果でもあります。これから世代交代が進んでも、JAきたみらいが「日本一の農協」として果たすべき役割や社会的責任を次の世代につなげるよう、今後とも「全ては組合員等利用者のため」を念頭に置きながら、我々監事5名が共に、公正・不偏の立場で監査業務を行うことにより、地域農業の振興と農協事業運営の発展に貢献して参りたいと考えておりますので、組合員皆様方のご協力を宜しく申し上げます。

結びになりますが、本年、組合員ご家族の皆様ならびに役職員の皆様方がご健勝で事故もなく、本年の豊穡の出来秋を迎えられることをご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

JAの健全性の確保と 地域社会の活性化に 貢献できる信用・共済事業を目指して

常務理事

越 田 喜 裕



この度の第19回通常総代会において理事に再任いただき、同日行われた臨時理事会において信用事業担当常務に就任いたしました。身に余る職責ではありますが、組合員の皆様の生活と営農活動を側面からしっかりと支えて参りたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

さて、令和4年度は第16回通常総代会でご決議いただきました第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画の実践4年目となります。金融共済部門では計画に基づき各支店の人員削減など実践して参りましたが、農協事業を取り巻く信用事業の環境は新型コロナ蔓延防止対策やロシアのウクライナ侵攻などもあいまって世界的な規模での経済の低迷、日銀の低金利政策長期継続による利ザヤの大幅な縮小、制度資金など国の融資支援拡充による組合員に対してのJA資金融資事業の減少が見込まれるとともに、共済事業においても少子高齢化によって加入者の減少による長期共済保有高の減少、ネット保険などを含めた国内外の保険業界との競争激化など経営環境は大変厳しい環境にあります。

また、昨年11月に第30回JA北海道大会が開催され、『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」』として第28回大会から設定したJAグループ北海道の将来ビジョンを一部見直したうえで継承し、デジタル技術を活用した生活様式・働き方など、新たな兆候が生まれている中で、改めて対話によって「JA運営の好循環」を目指す取り組みについて決議しました。コロナ禍やカーボンニュートラルへの対応、SDGsへの貢献や信用事業・共済事業をはじめとしたJA経営を取り巻く事業環境への対応など、農業・JAへの外部環境が急激に変化していることを踏まえ、令和6年度からスタートする第6次地域農業振興方策並びに中期経営計画の策定をこれから組合員の皆さんと危機感を持った対話を通じて創り上げていく貴重な期間となります。

JAの健全性確保と地域社会の活性化に貢献できる信用・共済事業を目指してJAサポーターの拡大を図り、幅広いニーズに対応した事業推進によって地域の方々に選ばれる存在を目指し、“出向く推進”による事業展開を目指していくことが不可欠な取り組みであると確信しています。

今後においてもJAを取り巻く環境が厳しくなることが予想されますが、非力ながらも誠心誠意努めて参りますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

時代を先読みし、 柔軟に変化し続けるJAを目指して

常務理事

高 橋 優



この度、第19回通常総代会において理事として再任頂き、その後の臨時理事会にて常務理事に就任致しました。

これまでの9年間、組合員各位のご指導とご協力によりましてその任を務めることが出来たことに心より感謝申し上げますと共に、今後、より一層組合員の皆様の負託に応えられる様、努力して参る所存であります。

近年はコロナ禍の脅威、自然災害の頻発、SDGsへの関心の高まり、デジタル化など世界規模での社会環境が変化しつつあります。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻によって国際的な安全保障上の不安を抱えているのが現状であります。

こうした中で日本における食料安全保障を確立することの重要性を強く感じています。食料基地北海道の一翼を担って、きたみらい産農畜産物を安定的に届ける責任をこれからも果たして参りたいと思っております。また、心と地域の豊かさを追求しつつ、環境貢献（地球環境改善）、地域貢献（災害時における安心提供）をコンセプトとして社会に向けた積極的な取り組みを実践して参りたいと思います。

農業経営に対しては、JAきたみらいのスケールメリットを最大限発揮しうる施設の再編集約を実施し、また「経営資源の選択と集中」の観点から業務の再編を行い、事業利益の伸長と適正な事業管理を様々な角度から実践して参る所存であります。

時代の潮流を的確に捉え、俊敏に変化し続けるJAであり続けることが重要であり、そのために組合員・地域・ステークホルダーである全ての皆様に信頼され、愛されるJAとなるよう努力して参ります。

結びに、本年が組合員の皆様にとってご健勝で素晴らしい一年となります様ご祈念を申し上げます。就任のご挨拶に代えさせていただきます。

新体制がスタート 3年間、一致団結し勇往邁進

4月12日の第19回通常総代会において、新しい役員が選任されたことに伴い、同日の臨時理事会及び監事会において向こう3年間の新執行体制が決定されましたのでお知らせします。(●は地域運営委員長)

理事

 会長理事 西川 孝範 (端野)	 代表理事組合長 大坪 広則 (訓子府)	 代表理事専務 齊藤 和雄 (北見)	 常務理事 宮下 尚樹 (新)(北見)	 常務理事 高橋 優 (学経)
 常務理事 越田 喜裕 (学経)	 理事(総務専門委員長) 林 政則 (相内)	 理事(営農専門委員長) 小野 洋一 (訓子府)	 ●理事 寺崎 博 (端野)	 ●理事 伊藤 稔 (温根湯)
 理事 ●齊藤 博行 (訓子府)	 理事 澤山 一之 (留辺蘂)	 理事 小野 俊浩 (北見)	 理事 溝井 雅幸 (置戸)	 理事 山内 幹司 (端野)
 理事 伊藤 正一 (上常呂)	 理事 平田 康弘 (新)(訓子府)	 理事 堺 信幸 (新)(置戸)	 理事 穴田 惣一 (新)(上常呂)	 理事 飯田 紀 (新)(相内)

監事

 代表監事 南 博敏 (訓子府)	 常勤監事 鹿野 信男 (新)(学経)	 監事 土山 清隆 (新)(端野)	 監事 大邑 和治 (新)(温根湯)	 監事 北村 好孝 (学経)
--	---	---	---	--

令和4年度参与紹介



南地域
訓子府地区
岩本 直樹



東地域
北見地区
米森 弘



東地域
北見地区
山崎 ゆかり



東地域
端野地区
沼崎 佳代

退任のご挨拶



日本一の 監事会を目指して6年

前・常勤監事

宇野 広勝

6年前に、当時西川組合長からお誘いをうけ、初めての単身赴任で当地に参りました。私の心の支えになったのが、西川前組合長が、日頃から口にしていた「日本一の農協を目指そう」という言葉でありました。当時、監事会において和田前代表監事をはじめ、各監事が組合長の言葉を受けて「日本一の監事会を目指すこと」に致しました。

そのため、

- ①経営と監査は両輪であり、忖度せず、耳の痛い話を経営者に伝えること。監事は先を見据えながら組合のリスクを語ることに。
- ②組合にとって、一番不幸なことは横領や着服の不祥事の発生であり、その未然防止等の監査を行うこと。
- ③監査を通じて、職員のレベルアップにつなげることに。

幸い、私の在任期間中において、きたみらい玉葱振興会が第50回日本農業賞大賞や第60回農林水産祭において天皇杯を受賞し、さらに、JA全中から運営の優れた農協として令和3年度特別優良表彰を受けるなど、名実とも日本のJAの中でトップリーダーの一つになりました。取引先、消費者の関係者各位のご指導とご鞭撻の賜物であり、また、組合員・役職員の努力に敬意を表します。

しかしながら、トップリーダーになり、その立場を維持することは並大抵ではなく、絶えずイノベーションが必要になります。時代が大きく変わる中で、新自由主義的な競争だけの世界からSDGs、カーボンニュートラル、みどりの食料システム戦略をはじめとする環境等に優しい社会、さらには、ロシアのウクライナ侵攻等によるグローバル経済に頼るサプライチェーンの限界などによる食糧安全保障といった考え方など、これまでのような既存の価値観ではなく、新たな価値観をもって事業の組み立てを行っていかねば、社会から乗り遅れることになりかねません。

厳しく小言を言う常勤監事にお付き合いを頂いた役職員に感謝しつつ、JAきたみらいが今後ますます発展するようご祈念を申し上げます。





J A トピックス

溶接や整備方法などを学習

12 2023年4月

JAきたみらい青年部西支部

JAきたみらい青年部西支部は4月5日、日本ニューホランド株式会社見営業所と安部鉄工所の2店を訪問し、学習会を開催しました。当日は青年部員31人が参加し、新型コロナウイルス感染症予防対策として2グループに分かれての実施となりました。

ニューホランドではトラクタの整備方法や農機の紹介、見学を行いました。同支部の大関涼雅支部長は「溶接や農機の整備方法について学ぶことができた。学んだことを営農に活かし、事故に気をつけてこれからの農作業にあたってほしい」と話しました。



▲メンテナンス方法を学ぶ部員



▲溶接体験の様子

1期生の外国人技能実習生が3年目を迎えました！

10 2023年4月

当JAの外国人技能実習生9人が1期生の3月に来北してから2年が経過しました。この2年で様々な作業に従事した実習生は、今春で3年目を迎え技能実習2号として最後の年となりました。コミュニケーション能力の向上も図られ、昨年同様玉ねぎやてん菜の補植、サタマヤやペコロスの収穫など技術習得に励んでいます。

実習生は、4月20日から相内地区の(株)豊田ライスファームで水稻の播種作業を行いました。初めて行う作業でしたが、真剣な眼差しで説明を聞き作業に取り組んでいました。

作業した実習生のハーティ



▲ベタがけを教わる実習生(右)



▲ポットを運ぶ様子



▲床土入れの様子

トゥエット・スオンさんは「残りの期間も一生懸命頑張ります！」と意気込みを話してくれました。6月中旬頃には2期生の3人を迎え、これから1年間、組合員圃場や農協施設で様々な作業を行う予定です。

議案5件可決、

現任の中島会長再任される

～第19回きたみらい酪農振興協議会総代会～

きたみらい酪農振興協議会は4月22日、当JA訓子府地区事務所第19回通常総代会を開き、代議員26人(内委任状9人)来賓1人が出席しました。

開会挨拶で同協議会の中島英樹会長は「新型コロナウイルスが広まって2年以上が経ち、現在も脅威は続いている状況である。2年間も振興会としての活動ができていないのは残念である。いまま先の見通せない世情であるが、次年度以降も会員皆様のご協力をお願いしたい」と話しました。



▲開会挨拶をする中島会長



▲総代会の様子

「JAの齊藤和雄代表理事専務は来賓挨拶として「新型コロナウイルスの長期化も日常となり、活動を自粛せざるを得ない状況となっているが、きたみらい酪農振興協議会の益々の発展と飛躍を願っている」と述べました。

今年度は役員改選となりましたが、令和4年度も現任の中島会長が再任されました。議事では令和4年度事業計画及び収支予算案の設定など議案5件が可決されました。

平年作以上を目指し、

てん菜移植作業順調

12 2023年4月

きたみらい管内では、てん菜の移植作業が4月下旬から開始しました。今年は雪が多い年でしたが、春先の気温が上がり雪解けも順調に進み、地域ごとに差はあったものの例年より早いスタートとなりました。

北見地区で畑作三品と、小豆を約39畝栽培するきたみらいてん菜振興会副会長の引地隆之さんは、今年てん菜の作付けを約11畝予定しており、4月24日から作業を始



▲移植作業を行う様子



▲苗の積み込み作業の様子

めました。引地副会長は「昨年度は干ばつで苦労した年となったが、今年度は作物にとって好天が続ぎ、平年作以上となるよう作業していきたい。コロナで経済は先の見通せない状況ではあるが、消費者に美味しい作物を届けたい」と今年度の営農に向けて意気込みを語ってくれました。今年度、きたみらい管内全体では約3,300畝の作付け、取扱量は約19万トンを計画しています。

みらいプロジェクトチャンネル

協同組合ネット北海道

vol.13

北海道大学大学院農学研究院 小林 国之

協同組合とは何でしょうか。皆さんが所属しているJAはもちろん農業協同組合ですし、利用している方も多いであろうコープさっぽろは生活協同組合です。そのほか、漁協や森林組合も協同組合です。やっている事業は様々ですが、それらに共通しているのは一人では解決出来ない共通の課題を、みんなで集まって力を合わせ（出資をして）、事業を通じて解決しようとする組織である、という点です。

現在、協同組合のこうした特質は、世界の様々な課題解決のための重要な手段として注目されています。SDGsの達成に向けた重要な担い手の一つとしても期待されていますし、ドイツのライフアイゼンという協同組合（信用協同組合）は世界文化遺産に指定されています。「現在、注目されている」といいましたが、実は少し前から、です。経済のグローバル化、新自由主義的思想が大勢を占め、その負の側面が強まっていくもとの、協同組合に期待が寄せられるようになりました。国連は2012年を「国際協同組合年」として、世界的に協同組合の意義を発信するための様々な活動が行われました。日本においても様々な活動が行われましたが、そのひとつに「協同組合同士の連携を強めるための取り組み」がありました。

日本には様々な協同組合がありますが「協同組合の仲間」として繋がっていたかといえそうではありませんでした。お互いによく知らない、さらにいえば、似たような事業を行うライバルとしての側面もあります。協同組合の意義を発信していこうという時に、その内部が自分達のことを良く知っていなかったら、発信出来るはずがありません。そこで、全国では地域の様々な協同組合の交流を図るためのネットワーク組織が作られました。

残念ながらその後、多くは活動が停滞しています。そのような中で、北海道は改めて2020年6月に「協同組合ネット北海道」をJAグループの他、道漁連や北海道森林組合連合会、コープさっぽろ、北海道労働金庫、北大大学院農学研究院など18団体で組織しました。行動指針を「ゆるやか・あいのり・やってみる」としています。あまり大きな理想だけを掲げて何も動き出せません。まずは出来るところからやってみましょう、という考え方です。私はこうした「ゆるい」考え方のほうが強みを発揮出来るのではないかと考えています。

協同組合ネット北海道ができたから、すぐに何かできるわけではありません。全ての土台は地域の人たちの暮らしです。地域で暮らす人たちの日常の中で、どんなところに共通のニーズがあるのか。それを見つけ出し、その解決に向けてそれぞれの協同組合が得意な事業を組み合わせる。地域の課題を見つけ出し（課題発見機能）、その解決手段をもった組織と繋いでいながら（組織コーディネート機能）、課題解決のためのプロジェクトを立ち上げていく（プロジェクトマネジメント機能）。そうした機能を備えていくことで今の農村が抱えている課題を自分達で少しずつ解決していくことに繋がっていくのではないのでしょうか。そうした期待を持っています。



ほのぼのの 広場

プリティ ウーマン



やりたいことに チャレンジしませんか!

北見地区・美里
みく
齊藤 未来さん(40歳)

今回はフレッシュミズの齊藤副会長に登場いただきました。

◆出身、結婚に至るまでは?

網走市出身で、高校卒業後は市内の一般企業で働いていました。友人の知り合いからの紹介で夫と出会い、優しい性格に惹かれお付き合いをスタート。1年経たずに結婚が決まり、現在小6、小4の元気いっぱいな女の子に囲まれて賑やかな毎日を送っています。

◆ご自身はどんな性格だと思いますか?

基本的にはマイペースですが、自分が決めたことは周りがなんと言おうがやり切る!我が道を行くタイプなので、頑固な一面もあります。

◆趣味、特技は?

編み物が好きで、バッグや子ども用の帽子をよく編みます。子ども達にミッキーの帽子を編んでディズニーランドに行ったことが印象的で、良い思い出となっています。世界に一つしかないオリジナル感があるのも編み物の良いところですね。

◆組織活動の魅力は?

フレミズ活動を通して物づくりや工場見学など個人ではなかなか経験できない様々なことにチャレンジできます。また、農家の奥さん同士、仕事や子育ての情報交換ができることも魅力の1つですね!

◆今後の抱負は?

今年こそは今まで通りのフレミズ活動が再開できればいいと思います。プライベートでは家族旅行に行きたいです!あとは、4月から端野小学校に通っている子ども達に楽しい学校生活を送ってほしいと願うばかりです☆

記念の一枚



▲海上での一枚(1番左が井上さん)

仲間と過ごす時間は 最高!

置戸地区・豊住

井上

はじめ
一さん
(53歳)



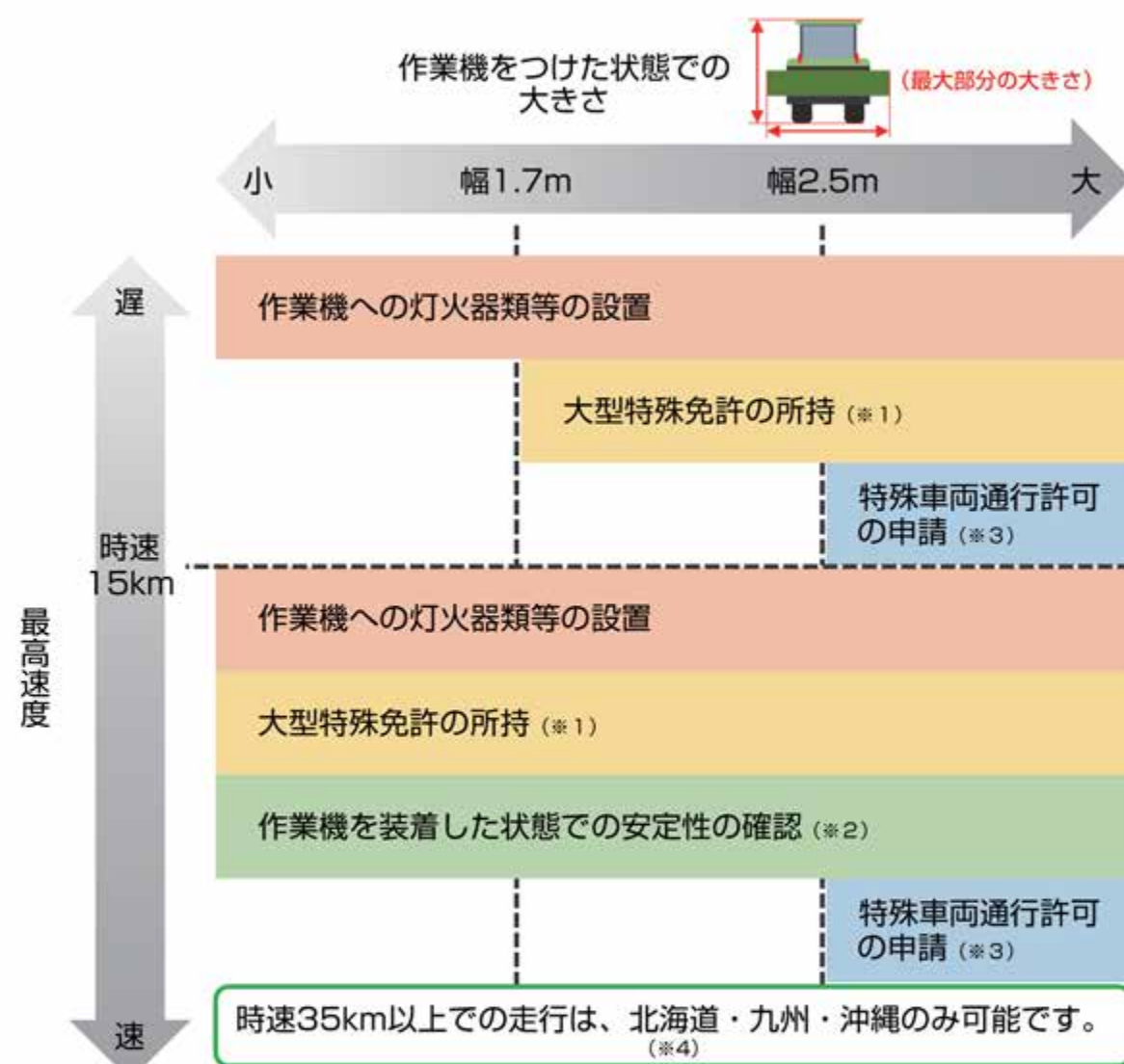
20年ほど前に周りの農家の影響で釣りに興味を持ち、どんどんハマっていきました。農繁期を除き、川釣り・船釣り・秋アジ釣り・ワカサギ釣りなど一年中釣りを楽しんでいます。

釣りは計画したその日から始まっていて、準備が何よりの楽しみです。そして、釣った魚は自分で捌いて刺身などに。美味しい水で育った魚は本当に美味しいですよー!

でも釣りの一番の魅力は、仲間と一緒に楽しむことです。仲間たちと「チームレイクマスター」というフィッシングチームを作り、約10人のメンバーで誘い合って活動しています。幅広い年代で交流ができ最高です!!

INFORMATION

作業機を装着・けん引したトラクタが 公道を走るための ルールを確認しましょう



- ※1 車両総重量が750kg以上の車両をけん引する場合は、大型特殊免許のほかけん引免許が必要です。
- ※2 作業機を装着した状態での安定性が確認されていないトラクタは、時速15km以下で走行する必要があります。
安定性が確認されているトラクタと作業機の組み合わせは、(一社)日本農業機械工業会HPにて公開しています。
- ※3 特殊車両通行許可については、道路管理者(国道：地方整備局、都道府県道：都道府県、市町村道：市町村)への申請が必要です。
なお、農道を走行する際の申請は不要です。
- ※4 北海道、九州、沖縄以外の地域では、作業機をつけたまま時速35km以上で走行することはできません。

上記のルールは一例です。詳しいルールは
農林水産省HPや日本農業機械工業会HPで確認を！

MAFF
農林水産省



農林水産省HP



日本農業機械工業会HP

きたみらいスマート農業推進協議会 会員募集

当協議会は、スマート農業に関する知識習得や情報交換などを目的に令和2年2月に設立されました。
現在の協議会員数は233戸となっており、たくさんの生産者に加入していただいております。
今年度も様々な活動を計画しておりますので、皆様のご加入をお待ちしております。

概要

- 会費 2,000円/年
- 活動計画
- ・GPSガイダンス・自動操舵座談会
 - ・農薬散布用ドローン講習会
 - ・ロボトラ実演会
 - ・スマート農業機器展示会
 - ・先進地視察 など

活動の様子

農薬散布用ドローン実演会



スペースアグリ講習会

《加入申込に関する問い合わせ先》
JAきたみらい営農振興部企画振興G 齊藤・鈴木 (32-8786)

各組織からの加入案内

「きたみらい酪農青年部」で活動しませんか？

きたみらい酪農青年部は、平成21年に設立して以降、酪農振興・技術向上・酪農青年の世代や地域を越えた交流を
目的に活動しており、今年で14年目を迎えます。
今年度は、部員58名で各種活動を実施する予定となっております。酪農青年の皆さん、ぜひ一緒に活動しませんか？

○令和4年度 活動計画

- * 共進会前夜交流会 7月
7月に実施している乳牛共進会の前日に生産者交流会を開催しています。
- * 道内視察研修 11月
1泊2日で道内の牧場や酪農関連施設を訪れ、視察を行っています。
- * 学習会 1月
過去には、農業税務や乳検情報の活用法などについて学習会を開催しています。
- * 交流会 3月
全部員と関係機関に声掛けして懇親会を開催しています。
- * 現地研修会(バーンミーティング) 時期未定
牛や牛舎施設を見学し、飼養管理などについて意見交換会をしています。今年は、北見地区のDreamFeedKitamiを見学しました。



▲過去の活動風景

きたみらい酪農青年部に加入希望の方、興味のある方は下記事務局までご連絡ください。
事務局：畜産相談G 五島和真 (TEL. 080-1890-7892)

INFORMATION

安全・安心な未来のために、
無人航空機の
登録制度が始まります。



事前登録受付

登録義務化

2021年12月20日開始 2022年6月20日開始

無人航空機の登録には
3つの手順が必要となります。

STEP 01 申請

申請方法はオンラインまたは書類提出にて行うことができます。無人航空機の所有者および使用者の氏名や住所などの情報、機体の製造者や型式などの情報を入力/記入し、申請を行ってください。申請は2021年12月20日から可能です。

STEP 02 入金

申請後、納付番号等が発行されたら、申請に係る手数料の納付を行ってください。クレジットカード、インターネットバンキング、ATMのいずれかの方法で入金することができます。また、申請方法によって手数料・納付方法が異なりますので、ご注意ください。

STEP 03 登録記号発行

すべての手続きが完了した後、申請した無人航空機の登録記号が発行されます。登録記号を機体に記載するなどの方法で鮮明に表示し、飛行を行ってください。

申請方法および手数料

申請方法	1機目	2機目以上(1機目と同時申請の場合)
個人番号カード又はgBizIDを用いたオンラインによる申請	900円	890円/機
上記以外(運転免許証やパスポート等)を用いたオンラインによる申請	1,450円	1,050円/機
紙媒体による申請	2,400円	2,000円/機

詳しくは無人航空機登録ポータルサイトをご確認ください。

<https://www.mlit.go.jp/koku/drone/>

無人航空機 登録



無人航空機の登録が
義務化されます。

事前登録受付

2021年12月20日開始

登録義務化

2022年6月20日開始

対象

100g以上の無人航空機
(ドローン・ラジコン機など)

手順は下記よりご確認ください。

<https://www.mlit.go.jp/koku/drone/>

無人航空機 登録



JAからの お知らせ

INFORMATION

第3回 理事会報告

4月20日、午前9時00分より第3回定例理事会が開催され、報告事項12件、決議事項6件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①令和4年度監事監査計画について
- ②内部監査（経営定期点検）報告について
- ③組合員状況報告について
- ④財務状況報告について
- ⑤令和4年度理事に対するクミカン貸越極額の設定に係る報告について
- ⑥R3年産共計玉ねぎの選果販売状況について
- ⑦独自生乳緊急対策の実績報告（年度末）と生乳生産状況について
- ⑧令和4年度用途別原料乳価格の決定について
- ⑨次期生乳安定生産対策に係る取り組みと契約推進上明らかとなった対応方向について
- ⑩R4年度燃料事業正組合員向け利用促進奨励施策について
- ⑪購買部門連休対応について
- ⑫組織機構の変更について

【決議事項】

- ①行政庁に対する業務報告書について
- ②外部出資の増口について
- ③役員退職慰労引当金の取崩し及び退職慰労金の支給について
- ④簡易暗渠施工機導入台数決定について
- ⑤規程類の改正について
- ⑥理事報酬の配分について

コントラグループの取り組みが表彰 ～加工馬鈴しょの収穫体系構築等が評価～

当JAコントラグループはこの度、カルビーポテト㈱が主催する2021年度生産者キャンペーン表彰式の先進的取組の部で表彰されました。各地域で目覚ましい生産実績を挙げた生産者や先進的に取り組んだ事例などを対象に表彰しており、当JAの令和3年度に取り組んだ加工馬鈴しょにおける収穫から選別までの一貫した収穫体系の構築と打撲率低減が評価されました。

今回の取り組みは、シブヤ精機㈱、カルビーポテト㈱、MSK農業機械㈱の手厚いサポートのおかげで成果をあげることができました。今後も組合員の労働力不足解消を念頭に置いた事業運営を展開していきます。



▲表彰されたコントラグループ職員一同

本年の廃プラ回収につきまして、次の日程で行います。受入日時・場所や排出区分など確認の上、持ち込み願います。

なお、未洗浄農薬空容器は再生処理ができないため、**洗浄済みのものと比べ約10倍の処理費用が掛かります**。空容器、空袋は洗浄して排出をお勧めします。

○受入区分

- ・農ビ類 ・農ポリ類
- ・未洗浄農薬空容器

○受入時間

- ・午前 9:00～12:00
- ・午後 13:00～15:30

日 程	受入場所
6月8日（水）	
6月9日（木）	西相内
6月16日（木）	小麦乾燥調製貯蔵施設
6月17日（金）	

※これまで数か所で受入しておりましたが、各施設において老朽化や狭小スペースでの作業等による安全面を考慮等の理由から、今年度より1か所のみでの受入とします。

農業用廃プラ回収のご案内



▲産業廃棄物運搬車の表示が義務化されております

※注意事項

- 農耕用廃タイヤ、ビニールホースの回収は秋に行います。

感染症の基本と対策② 感染症の予防について

感染症を防ぐには病原体に接触しないこと、免疫力を高めることが重要です。さまざまな感染経路に対して基本的な対策を行い、感染症を予防しましょう。



お問い合わせ：担い手グループ TEL:24-2145（榎本・辻本）

下記の通り、高齢者相談業務の担当者を変更いたします。よろしくお願い申し上げます。



担当：榎本 明莉
地区：温根湯・留辺蘂
置戸・訓子府
携帯：090-2690-0674



担当：辻本 修子
地区：北見・相内
上常呂・端野
携帯：090-2691-3493

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：酒井栄子



4月号まちがいさがしの当選者

4月号のまちがいさがしの答えは「4、5、6、9、11」でした。正解者31名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。 ()内は地区名

- ・西川 日郷さま(端野)・齊藤 優玖さま(置戸)
- ・館野 清志さま(端野)・濱田 正光さま(訓子府)
- ・佐藤 房江さま(端野)・長谷川統万さま(訓子府)

以上の方々には、JAきたみらいの「黒酢が入った玉ねぎドレッシング」と「玉ねぎポン酢」をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に
答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を
記入してFAXでご応募下さい。

抽選で6名の方に、JAきたみらいの「白
花豆シーザードレッシング」と「麦まるごと
うどん」2袋をプレゼント致します。

よ うやくあたたかくなりました。
お散歩するのが楽しみです。

(置戸地区 齊藤 優玖さん)

今年の冬は灯油やガソリンの高騰でお財布にも厳しい冬
でしたが、やっと暖房がいらな時期になりましたね。の
んびり散歩しながら桜やつくし、緑色の景色を眺めている
と、春になったんだなと実感します。

読者の声

今 年こそ良質な牧草とデントコー
ンが沢山とれます様に頑
張ります。昨年は日照りて量が
少なくて残念でした。

(端野地区 佐藤 房江さん)

昨年は一番牧草はよかったものの、その後の干ばつが非
常につらかったですね。輸入飼料も高騰しているので、今
年こそは質、量ともに良い飼料作物が育つことを願ってお
ります。

おひさまサラダをホームページで閲覧できます!

広報誌「おひさまサラダ」を当JAのホームページで紹介しています。
右側にあるQRコードから閲覧できますので、ぜひご覧下さい。



イラスト：小林裕美子

サクランボ

～甘酸っぱい初夏の味「赤い宝石」～

保存方法

常温保存

クーラーなどの風が直接
当たらない冷暗所に置く
食べる2,3時間前に冷やすとおいしい!
2,3日で食べ切ろう

冷蔵保存

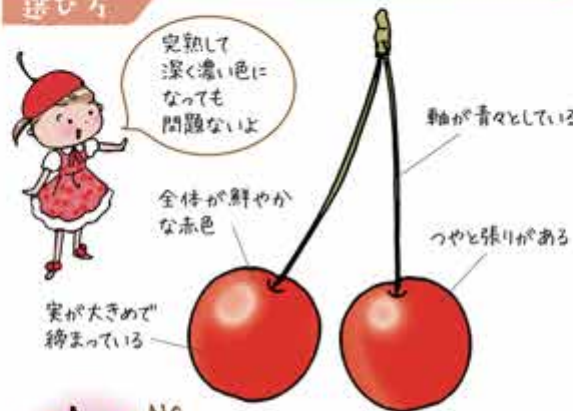
表面をペーパータオルで拭
き、洗わずに大きめの保存容
器に入れ野菜室へ
ペーパータオルを敷き、余
裕を持って並べると傷みにくいよ

冷凍保存

軸を付けたまま水
洗し、氷室をキッチン
ペーパーで拭き
取り容器や保存袋に入れて保存

軸を取ると実が閉
じ、乾燥しておいしさが
損なわれる
2,3分ほど常温で解凍すると
シャーベットのようにおいしい!

選び方



サクランボのいろいろ

佐藤錦(さとうにしき)
日本を代表する品種の
「赤いれど」と呼ばれ
る美しい色合いと上品な
食味が特徴

高砂(たかさぎ)
米国生まれのあっさりし
た味わいで酸味と甘味
のバランスが良い

紅秀峰(べにうたけ)
果汁が豊富で、酸味が
少なく甘味が強い。比
較的に持ち続けるため
客用としても人気

ナポレオン
やや大きめで、縦長のハ
ートに近い形の果汁が
豊富で、酸味と甘味の
バランスが取れた濃厚な
味わい

紅さやか
果肉は堅めで、果汁は
豊富で酸味が少なくさ
っぱりとした甘さ

月山錦(がっさんにしき)
中国生まれの太粒で甘
味が強い。食味が良く
見た目も珍しいため、
贈答用として人気

アマリカンチェー
輸入されているサク
ランボの総称。国産に
比べサイズが大きめで
甘味が強く濃厚な味

サクランボのチカラ



サクランボのビミョウ





切り昆布の煮込みハンバーグ



◆ 材料 (4人分) ◆

Aハンバーグのパテ

合いびき肉	300g
切り昆布(細かく切る)	30g
タマネギ	
(粗みじん切りにする)	1/4個
料理酒	大さじ1
塩	3g
みそ	小さじ1

新ジャガイモ	中2個
マッシュルーム	4個
スライスチーズ(溶けるタイプ)	2枚
スナップエンドウ	4本

Bトマトソース

カットトマト缶	120g
水	60ml
塩	適宜
こしょう	適宜
顆粒(かりゅう)だし	小さじ1/2
みりん	大さじ1
しょうゆ	小さじ1
料理酒	大さじ1

ドライパセリ	適宜
オリーブ油	大さじ2
ニンニク	1片

◆ 作り方 ◆

- ①新ジャガイモはさいの目に切って水にさらしておく。マッシュルームとスライスチーズは半分に切る。スナップエンドウは下ゆでし半分に切っておく。
- ②ボウルにAを入れ、粘りが出るまでよく混ぜ合わせ4等分し成形する。
- ③フライパンにオリーブ油、ニンニク、新ジャガイモ、マッシュルーム、②のハンバーグのパテを入れ、中火で両面を焼き上げる。
- ④③のフライパンにBを入れふたをし、中火で10分煮込む。ハンバーグに①のスライスチーズをのせ火を止める。
- ⑤皿に④を盛り付け、スナップエンドウとパセリをあしらひ出来上がり。

ホタルイカと新ゴボウの炊き込みご飯



◆ 材料 (4人分) ◆

米	300g
---	------

Aだし汁

かつおだし	280ml
しょうゆ	大さじ1
みりん	大さじ1
料理酒	大さじ1

ホタルイカ(ボイルしたもの)	20杯程度
新ゴボウ	1/4本

◆ 作り方 ◆

- ①Aの材料を鍋で合わせ、ひと煮立ちさせて冷ましておく。
- ②ホタルイカは目とくちばしを取り除く。新ゴボウはささがきにし、水にさらしておく。
- ③米をとき、ざるにあげて20分置く。
- ④炊飯器の釜に①、②、③を入れ、さらに20分置く。
- ⑤炊飯器のスイッチを入れ、炊き上がったらよく混ぜ合わせ皿に盛り付ける。

※献立を監修した人

茨城県笠間市にある「天晴(旧キッチン晴人)」オーナーシェフ

永井 智一(ながいともかず)

編集後記

- ・5月となり春らしい陽気を感じられるようになりましたが、朝晩の寒暖差が大きく体調を崩されてはいませんか?春作業の真っ只中でお忙しい時期ではありますが、体調管理・農作業事故に気をつけて作業をお願いします!
- ・4月末現在で、求人アプリ「daywork」を利用した組合員さんと労働者のマッチング率は約93%でした。収穫作業に向けて利用を検討してみませんか? (苧毛 鈴奈)

JAきたみらい概要

(令和4年4月13日現在)

- ・組合員数(正) 1,608人
- ・組合員数(准) 5,888人
- ・組合員戸数(正) 903戸
- ・貯金 117,226百万円
- ・貸出金 14,216百万円
- ・出資金 4,866百万円